



学校だより

10月号(第03-07号)

令和3年10月29日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 591 - 4183

分散登校が終わり、1 か月が経とうとしています。この間、高田中では、日々の授業に加え、生徒会立会演説に認証式、高田祭に、3 年生は修学旅行第二弾にと、ギアをトップに入れたかのようなスピード感と活気に満ちた時間が流れていたように思います。生徒も教職員も、一つひとつ、やれることを工夫してめいっぱい楽しみやりきる、その喜びを覚え、その力を伸ばし、ますますパワーアップしてきたように感じます。



10月5日(火)の生徒会役員選挙の放送による立会演説会では、コロナ禍の中で「高田中学校の、仲間たちの役に立ちたい」「あったかい学校にしたい」という思いに溢れた生徒たちが立候補し、新しい生徒会本部役員が選出されました。新生徒会本部役員を中心として、「お互いを認め合い、お互いに楽しく幸せに学び暮らせるため、学校をより良くする新しいアイディア」が、生徒たちからどんどん出てきたらいいなと願っています。学校は社会の縮図です。中学校は生徒たちにとって「目の前の社会」と言えるかと思います。当事者として、大好きな自慢のたか中をさらに魅力的に、一緒に創っていく体験をしていってほしいです。前向き提案大歓迎です。

【高田祭をふりかえって】

令和3年度の高田祭が10月22日(金)に開催されました。準備期間が約3週間という短い中でしたが、高田祭実行委員と合唱コンクール実行委員とが協力して、心に残る高田祭を行うことができました。高田祭実行委員長と合唱コンクール実行委員長に高田祭を振り返ってもらいました。

<高田祭実行委員長 3年3組 北尾 玲織>

今年度の高田祭は、分散登校後の約3週間という過去最短の準備期間や、会場の収容人数を一学年に縮小するなど、直前で多くの変更が入り、不安や焦りの中での準備となりました。しかし、少しでも高田祭を盛り上げようと実行委員全員で準備を進める中、少しずつその気持ちは消えていきました。そして当日、楽しんでくれている全校生徒の様子を

見て、開催できて本当によかったと強く思いました。

今年度の高田祭スローガン「虹の高中生 ～心一つに響け、笑顔とハーモニー～」にちなんで、全校生徒で今の思いを込めて虹を創り上げました。その中には「コロナが落ち着いたらしたいこと」などの願いも込められています。今回の高田祭を通して、どんな状況にあってもみんなの心一つにすることで成し遂げられることがあるということを改めて感じました。中止になってしまった合唱コンクールの分まで高田祭を盛り上げてくれた合唱コンクール実行委員の皆さんや、練習時間があまりないにも関わらず個性あふれる発表をしてくださった団体の皆さん、いつも最高のサポートをしてくれる情報委員の皆さんや先生方、そして全校生徒の皆さんの協力のおかげで、高田祭を無事に開催することができ、実行委員長として本当に感謝しかありません。一方で、今年度は短い準備期間だったため、多くの場面で先生方の力を借りることがありました。なので、来年、後輩たちには今年度よりも主体的にアイデアを出し合い、より素晴らしい高田祭を創り上げてほしいです。そして、その次も、そのまた次も、伝統をよりよいものにして引き継いでいってくださることを心より願っています。

<合唱コンクール実行委員長 3年3組 山内 多恵>

合唱コンクールを創り上げたいという思いで集まったメンバーで、思いがけず高田祭の運営に携わることになりました。今年こそは素晴らしい合唱コンクールを、と意気込んでいたものの中止になってしまい、メンバー全員残念な気持ちは強かったと思います。そんな中での最初の合同実行委員会では、戸惑いもあり、なかなか積極的に発言できないこともありました。しかし、最終的には、委員会の目標だった「不言実行」、言われなくても自分にできることを探して行おうということは、十分に達成できていたように思います。オープニングムービーの撮影、虹を模した掲示物の作成など、主体的に動くことができ、その結果として高田祭を成功させることができました。あっという間の三週間でしたが、とても心に残る経験ができたことを嬉しく思います。

一方で、後輩達に合唱コンの伝統を引き継ぐことができなかったことは、非常に歯がゆくもあります。高田祭は、実行委員や参加団体などで大方の準備を進めるため、当日はある種サプライズのような形になる行事です。全校生徒のまとまりを生むという意味で有意義なものですが、合唱コンクールには、また違った良さがあります。本番まで練習を重ね、思いを共有することで、クラスの一体感が大きく高まるのです。

来年、今までの合唱コンクールを知る学年はいなくなりますが、だからこそ枠組みにとらわれずに、より良い高田中の合唱コンクールを創り上げてほしいと思います。クラス一丸となって創り上げる達成感を、是非味わってください。



【たか中オリジナル修学旅行第二弾 ～ 横浜日帰り修学旅行を終えて】

14日(木)にたか中オリジナル修学旅行の第二弾である横浜日帰り修学旅行が行われました。集合時は少し寒く、正午頃は少し暑くなりましたが、天気にも恵まれ最高の一日にすることができました。

これで、たか中オリジナル修学旅行はすべて終了です。昨年度の冬休み明けから事前学習をスタートし、約1年間に渡って修学旅行に取り組んできました。6月2泊3日から9月1泊2日への延期、宿泊場所の変更、その後10月への延期と代案への変更など、2回の保護者説明会、3回の参加確認を経ての実施となりました。できれば予定通り京都・奈良へ行きたかった気持ちもあるかもしれませんが、生徒たちの楽しそうに活動する様子を見て、中止ではなくこのような形で実施することができ本当に良かったです。こうして実施できたのは、改めてこれまで関わった多くの方々のおかげからだに感謝の気持ちでいっぱいです。

アドベンチャーゲームでは、配付された地図を見てチェックポイントを回り、様々なミッションをクリアしながら、みなとみらい地区を散策しました。高得点を目指して走って移動してしまい、へトへトに疲れてしまった人も多かったようです。八景島シーパラダイスでは、何ととってもアトラクションを全力で楽しむ様子が印象に残っています。ジェットコースターに何度も繰り返し乗ったり、人生初めてのジェットコースターにドキドキワクワクしたりと様々な様子が見受けられました。中には、バスの出発時間に間に合わなかったり、決められたルールを守れなかったりという課題もありましたので、反省すべき部分は反省し、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。(3学年主任 辻田 ～ 学年だより「蝶～感動のフィナーレへ～」より抜粋)



【令和3年度第2回学校運営協議会】9月29日(水)

9月29日(水)に今年度2回目の、学校運営協議会が、高田小学校を主会場として今回もZOOMを通じて開催されました。高田中学校、高田小学校、高田東小学校3校の分散登校時の教育活動やコロナ禍での学校生活や行事、GIGAスクールの取組やPTAによる工夫について、また、併設型小中学校3校でのZOOMを活用した会議や情報交換の取組の状況についての、それぞれの学校でのさまざまな工夫とチャレンジを情報交換することができました。有識者の生重様からは、「ICT利用による目の疲れをとるための生徒主導の活用事例」など、今回も高田中ブロックで参考になるようにと地域と学校との連携の事例を数多くいただきました。学校、保護者や地域の皆様とで知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら「地域とともにある学校づくり」を共創して参りたいと思います。

【今年も PTA オンラインバザーを開催しました！！】

10月2日（土）、高田中学校 PTA オンラインバザーを昨年度に続き、今年度も実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大状況が長い期間続き、以前のようなバザーの実施は見送りましたが、PTA バザー委員会の皆様の「まだ着られる標準服などを無駄にしたくない。リサイクルを希望されているご家庭の声にこたえたい」というありがたいお気持ちから、「標準服（本校制服）」「体操服（ジャージ上下、T シャツ）」限定でオンラインバザーを実施することができました。

今年度は高田小学校、高田東小学校にもご協力いただき、6年生にお子さまがいらっしゃるご家庭にもお声をかけることができました。大勢の方にオンラインバザーにご来店いただき、誠にありがとうございました。



高田中学校
オンラインバザー

制服
リユース!!

SDGsに
取り組んでます

10月2日(土)
7:00~21:00

申し込みは、簡単なアンケートに
回答していただくだけで完了です。
申し込みページの場所はCOCOO
で前日にご連絡します！

*今年は制服のみの販売になります。

主催：高田中学校PTA バザー委員会

【もしも大きな地震（震度5強）が起こったら】

10月7日（木）、千葉県北西部を震源地とする大きな地震がありました。横浜も震度5弱を観測しました。学校施設の安全が確認され、翌日も平常通り授業を行うことができました。大きな災害はいつ起こるかわかりません。もし発生したら具体的にどう行動するか、ご家庭でも今一度話し合ってみてください。

①<登下校時>

- ・看板、家屋の外壁、高いビルの窓ガラスなど落下物から身を守ります。
- ・最寄りの避難場所、あらかじめ定めてある避難場所、近くの公園、空き地など安全な場所へ、直ちに避難します。
- ・登下校途中で、地震が発生した場合は、学校か自宅か近い方に避難します。

②<学校にいる時>

- ・**大規模地震（横浜市内のいずれかで震度5強以上）発生の際には**、直ちに授業を打ち切り、保護者等届け出のある引き取り者が学校に引き取りに来るまで学校で預かります（留め置きます）。
- ・**大規模地震にあたらぬ地震（震度5弱以下）発生時は**、校長が適切に判断します。ただし、生徒を安全に帰宅させられないと判断される場合は、大規模地震発生時と同様の対応を行う場合もあります。

横浜市学校防災計画では、「横浜市内で、震度5強以上の地震が1箇所でも発生した場合、原則として当日および翌日は休校とする。ただし、被害が少ないなど状況によっては、学校長の判断で教育活動の継続を可能とする。」と定められています。休校・学校再開については学校ホームページとCOCOOでお知らせいたします。